

第7回 おひさまの会の報告

7月3日、第7回「おひさまの会」は、横浜市教育委員会指導部 指導主事指導室長 齊藤 一弥先生をお招きして「小中一貫教育について」ご講演をいただきました。齊藤先生の大変わかりやすいお話に参加をいただいた保護者、先生、PTA関係者の方々から「小中一貫教育について横浜市の方向性がはっきりした」という感想がたくさん聞かれました。

齊藤先生、お忙しい中、本当にありがとうございました。



齊藤先生からいただいた資料の抜粋

1、横浜学習指導要領 教科等編

小中学校の目標

教科等の小中学校の目標、9年間の指導の連続性等の開設

教科等と「知」「徳」「体」「公」「開」との関連

本市の目指す子ども姿の実現に向けた教科等の役割

義務教育9年間の身につける力の系統

9年間で子どもが身につける「知識・技能」「活用する力」「関心・態度・意欲」の系統

補充的・基礎的・発展的指導内容、指導方法

学習指導要領で示された基礎的指導内容とともに、基礎・基本を身につけるための補充的指導内容、さらに学び進み深めるための発展的指導内容とその指導方法

2、横浜型小中一貫教育の推進、

目的

9年間を見通したカリキュラムを作成し、小中学校間での学習指導や生活指導の円滑な接続を可能

授業改善の推進と学力向上、児童生徒指導の充実

「横浜型小中一貫教育」のとらえ

小中一貫教育推進ブロックで「小中一貫カリキュラム」を編成・運営・評価・改善し、学区の小中間で教材・教具・図書等を共有化すること等で、学区や地域の実態に合った指導の一貫性や学びの連続性を図る。校舎や敷地を共有するなどの物理的な条件は問わない。

参加者の感想

横浜市の小中一貫に教育の取り組みについて、貴重なお話を聴くことができ、本当によかったです。お話しがとてもわかりやすかったです。

保護者の立場で お聞きしたので我が子の学校の先生がこの取り組みに頑張っていただけのように願うばかりです。保護者も、もっとこのような教育の横浜の取り組みの話等興味をもってサポートしていくことが大切だと強く感じました。

小学校、中学校の校舎が離れているので、一貫教育のイメージがわかなかったが、9年間を通してのスムーズな教育を推進したいということでやっとイメージがわいた。この教育を有意義なものにするためにも環境（クラス）を整えることも考えていただきたいと思う。

横浜の教育活動の方向性を知ることができ、大変参考になりました。

非常に参考になる内容でした。

横浜市の先生方のモチベーションを上げ、それを持続していくために市民として何かできることはあるでしょうか？先生方が努力されていることを市民がもっと知る必要があると思います。

横浜の教育をリードしている斉藤指導主事室長の講演を小人数で聞ける機会をいただき感謝いたします。教育現場が「総論賛成、各論賛成・・・でも実践が」という現状を斉藤先生が把握されていることに感伏服いたしました。

このように保護者、市民の方と直接、会話・対話できる機会がありますと私たち教育関係者にとってもよい機会となります。

小学校・中学校の連携はとても大変だと思います。今後もこのような会でいろいろ情報を公開していただきたいと思います。

